



病気やケガの治療後、後遺症として運動機能に障害が残ることがあります。理学療法は、その回復を目指すリハビリテーションの第一歩です。本資料では、馬場記念病院における理学療法の基本的な内容に加え、期待される効果や注意すべき点についてご紹介します。

理学療法とは何か

理学療法は、歩行や筋力などの**身体機能の回復・維持を目的**とした医療行為であり、**運動療法・物理療法・装具療法**を組み合わせて行います。馬場記念病院では、脳卒中、脊髄損傷、整形外科的外傷、パーキンソン病などに起因する運動機能障害に対して、**専門的な理学療法**を提供しています。患者さま一人ひとりの状態や目標に応じてプログラムを柔軟に調整し、多職種が連携して、**安全かつ継続しやすいリハビリテーション**を実施しています。



理学療法の効果とリスク

理学療法によって、筋力や関節の柔軟性が高まり、**転倒予防や歩行の安定**が期待されます。また、心肺機能の向上や痛みの軽減にもつながります。

一方で、転倒や過負荷による痛みの悪化などのリスクも伴います。馬場記念病院では、患者さま一人ひとりの体調やリスクを十分に評価した上で、**最適な理学療法プログラム**を提供し、安全性を最優先に治療を進めています。

理学療法の効果

- 筋力・関節可動域の改善
- 歩行能力の向上
- 痛みの緩和
- 心肺機能の維持・向上

※ 無理なく、安全に取り組みましょう。



Column

見てわかる！理学療法のイメージ

理学療法には目的に応じたいくつかの方法があります。代表的な例をご紹介します。

運動療法

- ・筋力強化訓練
- ・バランストレーニング
- ・歩行訓練
- ・持久力訓練



物理療法

- ・温熱療法
- ・電気刺激療法
- ・低周波治療



装具療法・補助具の活用

- ・歩行補助具
- ・矯正装具
- ・安全な使用方法の指導

